

◆信仰成長5則◆

1. 毎日聖書を読む 2. 絶えず祈る

3. 集会に出席する 4. 信仰の友と交わる 5. 言葉と行いで証しする

4月5日 パームサンデー礼拝順序

前奏

招詞 イザヤ書45章22節

「地の果てのすべての者よ。わたしが神だ。仰ぎ見て救われよ。わたしが神だ。ほかにはいない。」アーメン

会衆賛美 聖歌498

会衆賛美 鹿のように(4面記載)

主の祈り

交読 詩篇47篇1〜9節

礼拝祈禱

使徒信条

聖書朗読 ヨハネの福音書 12章12〜19節

説教 平和の王として

会衆賛美 聖歌118

献金 聖歌376

頌栄

祝禱 奏楽

大切にしよう  
聖日礼拝  
月約献金

聖日礼拝  
の心得

定刻の出席を心がけましょう。前から着席。心を整えましょう。心静め、信仰をもって神のことばを受け取りましょう。賛美と感謝の献金は真心より。礼拝後には愛の交わりも大切に。

【新型コロナウイルスについて】

(続報 4月5日付け)

東京都および首都圏での感染拡大が止まらない厳しい状況が続いています。先週はミルトス会、ミモザ会、および公共交通機関を利用の方には礼拝をお休みいただきました。本日は信徒全員に出席停止をお願いしなければならぬと判断致しました。共に集まることができないのは本当に悲しいことです。このような時にこそ私たちキリスト者が主にあつて一つとされていることを覚え、異なる場所においても共に心を合わせて主を礼拝し、祈りましょう。

主任牧師 石田敏則  
担任牧師 荻野泰弘

■本日(4月5日)の礼拝について

・信徒全員を出席停止と致します  
・礼拝は教職者および牧師家族にて行います。皆様にはそれぞれの場所で祈り、礼拝の時を持ってください。  
・ご自宅での礼拝の持ち方を4面に掲載します。ご参照ください。

■共に祈りましょう  
・一日も早く終息し、社会活動、教会活動が回復するように。人々の心が守られるように。

・政府、自治体が適切な判断と対応ができるように。

・コロナウイルスに罹患している方々と治療にあたっての医療者のために。

・シオン教会メンバーと家族、関わる方々の心と体が守られるように。

【消息 報告】

・先週は、第一礼拝12名、第二礼拝18名、小学科ホザナ礼拝4名の出席でした。礼拝後に出席者で堂清掃を行いました。

・林眞光修養生 明日(6日)に聖宣神学院に入寮します。新型コロナウイルスの影響で授業は5月より開始の予定です。今後の学びと訓練のために祈りください。

【本日の配布物】  
・イースター献金 趣意書

■フォロワーアップ体制

・週報の送付  
前日(4日)に到着するように郵送致しました。

・礼拝のインターネット配信

11時までに教会ホームページ上で視聴できるように手配しています。詳しくは教会ホームページをご覧ください。教会では9時より礼拝を行って中継、録画致します。

■イースターについて

実施の可否を検討中です。ご案内している通りに分散する形での実施を願っています。しかし、非常に厳しい状況です。今週中に判断し各会連絡網でお知らせします。

■その他

・4月聖務表の発行は当面見合わせます。  
・霊修会については、12日に実行委員会として開催の可否を判断します。

■受難週

今週は主が十字架に架かられたことを覚える受難週です。今年には例年にはない出来事を経験しての受難週です。このような時だからこそ、聖書を読み、祈り、静まりの時を持ちましょう。主の十字架の御苦しみを思いながら、私たちに約束された永遠のいのちの希望を見上げてイースターを待ち望みましょう。

〔聖書を読みましょう〕

受難週・十字架・復活の箇所  
マタイ 21章〜28章  
マルコ 11章〜16章  
ルカ 19章〜24章  
ヨハネ 12章〜21章

〔心を合わせて受難日を過ごしましょう〕10日(金)は受難日です。一日のうちのどこかで、聖書を読み、祈りをささげましょう。場所は違いますが、共にヨハネの福音書19章を読みましょう。そして、お互いのことを覚えて祈りましょう。

■担任牧師、協力牧師より

\*担任牧師より  
会えないことはとてもつらいことです。主はどうしてこのような試練を与えるのかと悩みます。しかし私たちの主は闇の中に光を与えます。厳しい状況ですが、今、主が何を語っておられるのか思い巡らしましょう。

\*協力牧師より

先週「教会での礼拝出席はお休みください。」という前代未聞の連絡が入った特にミルトス・ミモザ会(私もミモザ会)の皆さま、いつも通常の営みに戻れるかを見通せない現状ですが、主の守りの中でお過ごしのことと思います。この度のことを通して、問題なく共に集い礼拝し、交わりの時が与えられていたことが、どんなに幸いであつたかを思わされています。巷は情報過多ですが、心騒がせることなく、ご自分の羽でおおつてくださる主の翼の下に身を避けて(詩91・4)静まり、お互い、教会での再会を待ち望みましょう！